

試読 SAMPLE サンプル

痴虐 パンデミック

これまでに
経験したことのない快樂

SM小説

あんぷらぐ

荒縄工房

試読 SAMPLE サンプル

S
M
小説

痴虐パндеミニッツク

これまでに
経験したことのない快樂

試読 SAMPLE サンプル

めんぷらぐ著
元繩工房・発行



本作品はすべてフィクションであり、実在する人物・地名・団体とは一切関係ありません。また、特定の個人、団体、宗教、性、性別などを誹謗中傷する意図はありません。

あんぷらぐ

試読 SAMPLE サンプル

S M雑誌に「仲ゆうじ」名編集の仕事に携わる。九〇二〇一一年「荒縄工房」より「あんぷらぐど」名義で独自の自虐的S M小説、伝奇S M小説などを発表。二〇一九年「あんぷらぐ」に改名。東京在住。

目次

ケース1	麻利江	石で逝く	6
ケース2	友美	逆さ地獄	6 2
ケース3	優希菜	獣欲の	1 1 4
ケース4	日陽里・夏音	の絆	1 8 1
ケース5	詩乃	悪霊性戯	2 3 7
ケース6	香苗	炎に染ま	3 2 3
ケース7	文子	狂気の罍	4 1 0
ケース7	文子	狂気の罍	4 8 8
最終章	ソドムの娘たち		5 4 2
奥付	6 4 6		

試読 SAMPLE サンプル

都市伝説でございましたでしょうか。

異常気象のせいでございますでしょうか。

はたまた

未知のウイルスによる仕業でございますでしょうか。

巷にこの頃、

蔓延しているのは

驚くべき痴態、醜態を晒してしまふ

女子校生たちなのでございました——。

ケース1 麻利江 石で逝く

怖い。すごく怖い……。

ベッドの上に立っています。自分の乳首に洗濯バサミを噛ませていて、洗濯バサミには五十センチほどのヒモをつけ、そのヒモには三百五十ミリのペットボトルを結びつけています。もちろん、中には水がいつぱい入っています。

手で少し引っ張ったぐらいでは、洗濯バサミは外れません。

「はあ、はあ、はあ」

全裸。あそこが濡れているのがわかります。だけど

怖い。

すっかり変態遊戯に夢中なわたしは、これでも女子校生……。受験を控えた大事な時期なのに。

ゆつくりとヒモを伸ばしていくと、乳首だけでペットボトルを支えることができます。乳首が激しく引つ張られ、根元からちぎれそうです。オツパイが下に向かつて潰れています。

ぶらぶらさせると、さらに深く噛まれて外れにくくなるようです。

家にある洗濯バサミはとても強力です。指先で確認していました。指につけて、手を思いきり振っても外れません。むしろきつく食い込む感じ。

最初は洗濯バサミだけでした。それを指でちよつと引っ張って揺さぶって、長時間、つけたままです。していたのです。

つけるときの痛み。じわじわくる痛み。そして外すときの痛み。外したあとの痛み。

どれも好きになつてしまつたのです。

洗濯バサミをしたままのオナニーも気持ちいいですが、外したあとのオナニーもステキ。

もつと乳首をいじめたい……。

授業中もふと、乳首がうずいて、「今夜はどんな風にいじめてあげようかな」と思ったりもしてしまふ変態な女子校生。それがわたしなのです。

ある日、空のペットボトルをぶら下げてみました。

それぐらいなら、乳首はほぼ水平のまま。オツパイもほとんど変形しません。

ちよつと激しく体を動かしてみると、ぐいぐい食い込んできて、音楽に合わせてバカみたいに踊ったりしました。

ペットボトルの重みで、自分の意図しないところで強烈に引っ張られることがあって、それがすごくうれしい。

めちやくちやにして……。

あそこはぐちよぐちよ。毎日やっても飽きません。

そんな遊びをしていたのですが、もつと酷く、いた

ぶりたくなつてきたのです。

だからペットボトルに少しずつ水を入れるようになりました。

半分ぐらい入れると、踊ると強烈な刺激で叫び出しそうになるので、それからは、タオルで猿轡をするようになりました。

「ぐうううう」

タオルを噛みしめるのもいいし、そこがツバでぐちよぐちよになつて変なニオイがするのもいい。

ステキなことが増えていく。

いまはペットボトルは満タン。ずっしりと重いので、洗濯バサミは簡単に外れてしまふと思つたのですが、

がつちり食い込んでいます。わたしの乳首は、洗濯バサミの歯にすつかり馴染んでいるのです。

もし、ペットボトルを投げ落としたら……。

というか、洗濯バサミが外れるまで、激しく振り回したら……。

激痛のあまり失神してしまうかもしれませぬ。

だけどやってみたい。

お願い、もつといじめて……

そうつぶやいている自分がいました。

ふと、時計を見ると深夜の一時でした。

わたしがその遊びに目覚めたのは、最初はストレス

を解消するためだと思っていました。勉強に疲れたとき、こんなことをすると、そのあとスッキリして勉強に集中できたのです。が、はじめてから数か月。いまではそんな言い訳は不要になつてしまいました。

わたしは変態なんですから。

最初は一度の遊びで一週間勉強に集中できたのに、だんだん遊びの回数が増えて、いまでは勉強はどうでもよくなっています。

「麻利江、やるのよ。やりなさい」

母が言うように自分に命じます。勉強をやるのではなく、乳首いじめをしろ、というのです。その誘惑に勝てません。

体を激しくいたぶりたい……。

ベッドの中でとても安全に、下着の中に指を滑り込ませて、ひたすらクリトリスや膣口のあたりを指でまさぐる行為などは、まったく違うのです。

こんなことをしてはいけないと勉強を必死にやっても寝るときには、思いきり乳房を驚づかみにしています。

「お願い、もつといじめて」とつぶやくのです。心の中だけでは足りません。声に出し、それを少し部屋に響かせてみると、いつきに昂ぶります。

学校と勉強でクタクタなはずなのに、ベッドから出て全裸になってしまう……。

「今夜も乳首をお仕置きしましょう」

オツパイについては、女子校に入ったときから、いわゆる「上げ底」で、Cカップのブラに合わせてパッドを入れて、なんとか膨らませていたのです。そんな女子はわたしだけではないので、恥ずかしいことはありません。

それに「いつか上げ底ではなく、自然にCカップ、いやDカップになるはず」とみんな思っていて、パッドはそれまでの仮のものだと信じていました。

でも、毎晩のようにバストアップの体操やマッサージをしても、なかなか大きくはなってくれません。友人の中には、めきめきと大きくなって「肩が凝るわ

あ」と自慢するやつもいましたが、大多数の上げ底組は、ほとんど変化しないのです。

それに、わたしは乳首がものすごく敏感で、もしなにかの拍子で乳首が硬くなってしまったら、布に擦れても、指で触っても強烈な痛みだったのです。

こんなことではダメなのではないか。

もつと乳首を鍛えないといけないと思うようになっていました。そうしないと、オナニーも満足にできません。乳首が硬くなって、布団などに擦れただけで痛くて、快樂どころではないなんて、つまらない。

それが、あるとき、痛みをできるだけ我慢するようにならなければ、痛みと快樂がシンクロすることを発見

したのです。最初に見つけたステキなことでした。

「あつ、痛い、でも気持ちいい」

これはオナニーそのものを変えてしまうほどの発見でした。

それからというもの、乳首をいじめて快楽を得るオナニーを妄想するようになって、洗濯バサミに行きつきました。

そして、とうとう、ベッドの上に立って、今日こそペットボトル落下実験です。

「麻利江、あんたの乳首を処刑するわ」

太ももぐらいでブラブラしている状態なら、けっこう耐えられるようになったので、たぐって、腰骨のあ

奥付

お読みいただき、ありがとうございました。

二〇一三年七月刊行 第一版

著作権 あんぷらぐ（あんぷらぐど）（荒縄工房）

荒縄工房の情報は下記サイトへ

●ブログ「荒縄工房」

●ホームページ

●荒縄工房 S M 研究室

●今日も上機嫌ってわけないだろ

コメント、メッセージ歓迎。ご意見、ご感想、ご提案など随時、ブログで受付中。